

**めぐみさんから  
奪われたものは何か**

# 授業の概要 について

# 1 授業の目的

① 基本的人権や個人の尊重の原理に関心を持ち、進んで追究しようとする意欲を持つこと。

② 拉致問題をとおり、個人の尊厳と人権尊重の意義について、理解を深めること。

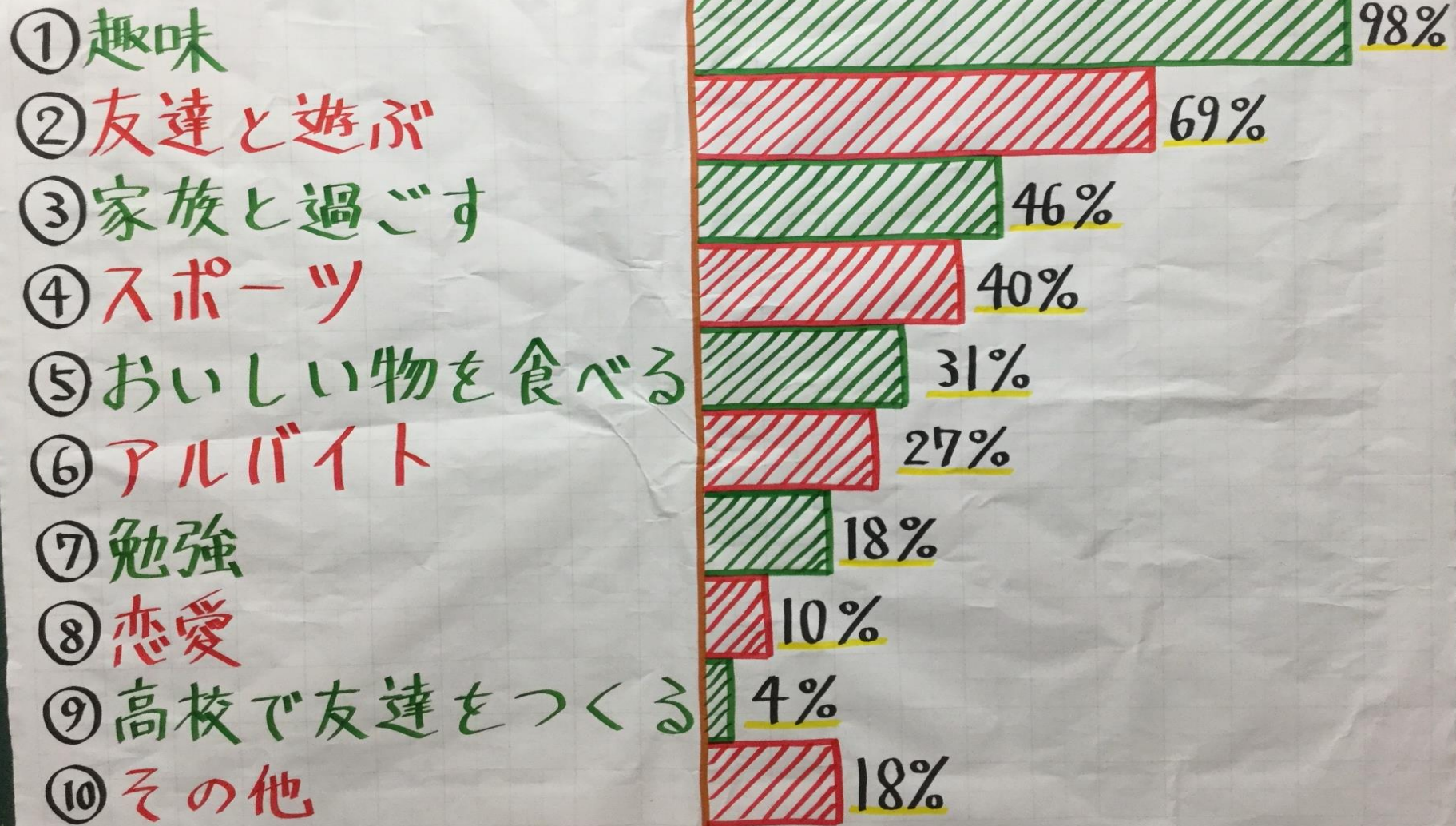
## 2 授業の特色

- ① 「めぐみさんから奪われたものは何か」という視点を示した、北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」の視聴。
- ② 自分に引き寄せて考えるために、めぐみさんから奪われたもの（権利）と、自分達がこれからやりたいことを対比する。
- ③ 「横田夫妻の印象に残った一言は何か」という視点を示した、「横田滋 早紀江さんからのメッセージ」の視聴。



### 3 事前アンケート「これからの人生でやりたいこと」

これからの人生で、やりたいことは何ですか？

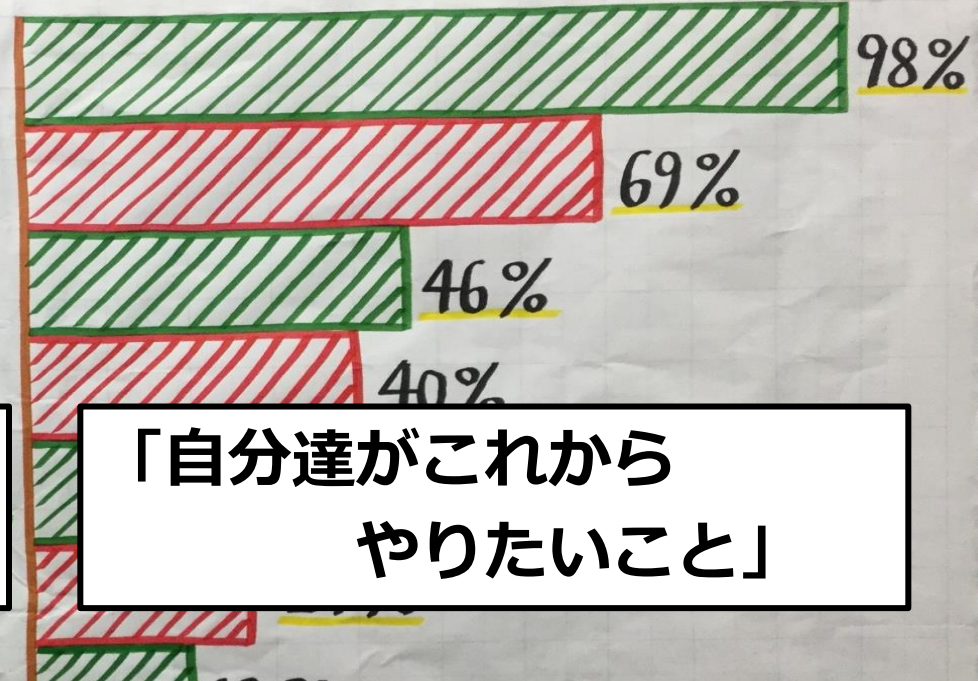




## 4 事前アンケートのねらい

これからの人生で、やりたいことは何ですか？

- ① 趣味
- ② 友達と遊ぶ
- ③ 家族と過ごす
- ④ スポーツ



「横田めぐみさんから  
奪われたもの（権利）」

「自分達がこれから  
やりたいこと」

- ➡ 一致することに気が付かせる。
- ➡ めぐみさんに起こった出来事を  
自分に引き寄せて考えさせる。

# 授業の実際 について



# ① 導入

# ② 展開

# ③ まとめ

**必ず取り戻す！**

めぐみ、お母さんがきょうに助けてあげた、めぐみがいなくなつて長い年月が経ちました。同じように助けを求めている拉致被害者のたくさんいるのです。

横田 孝 記 江

初めて母親の着物を袖を通した横田めぐみさん(当時12歳)。1977年1月新潟市の自宅前で父 滋さん撮影。

日本政府は、北朝鮮に対し、認定の有無にかかわらず全ての拉致被害者を一刻も早く帰国させるよう強く求めています。

政府 拉致問題対策本部

拉致に関する情報を求める方、お問い合わせ、権利保護は、電子メールアドレス: [rachi@racas.go.jp](mailto:rachi@racas.go.jp) FAX:03-3581-8911 までお願いいたします。 ホームページアドレス: <http://www.rachi.go.jp> TEL:03-3581-8898

横田めぐみさんの  
ポスターを見て、  
北朝鮮による拉致問  
題への**関心を高めた。**



## ① 導入

## ② 展開

## ③ まとめ



約40年前に、（当時）同じ中学生だった横田めぐみさんが、北朝鮮によって拉致された事件があったことを簡潔に伝えた。

➡ アニメ「めぐみ」の視聴に繋げる。

① 導入

② 展開

③ まとめ

## アニメ「めぐみ」の視聴



出典：拉致問題ホームページ  
(<http://www.rachi.go.jp/>)



視聴後に考える

課題「横田めぐみさんから奪われたものは何か」

をあらかじめ提示した。

➡ ポイントを絞った視聴になるよう、工夫した。

① 導入

② 展開

③ まとめ

## 自身の考えをまとめる



出典：拉致問題ホームページ  
(<http://www.rachi.go.jp/>)



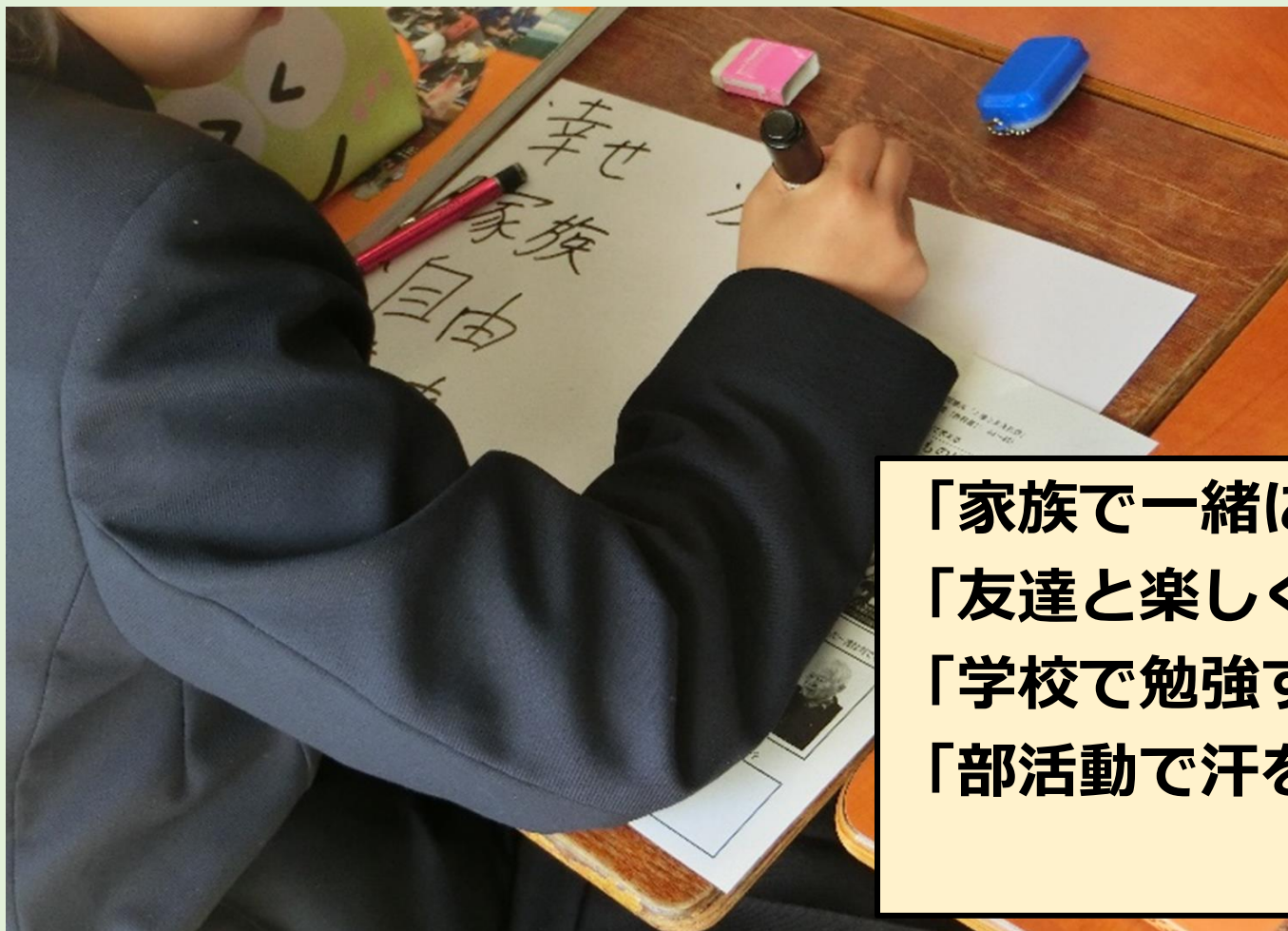
視聴後は、  
**課題「横田めぐみさんから奪われたものは何か」**  
に対する自分自身の考えをまとめた。

※DVDは全て視聴せず、めぐみさんが拉致された場面までとした。



## 小グループでの話し合い

「各自が考えたものを小グループで発表・共有」



「家族と一緒に暮らすこと」

「友達と楽しく遊ぶこと」

「学校で勉強すること」

「部活動で汗を流すこと」

等が挙げられた。



# ① 導入

# ② 展開

# ③ まとめ

## クラス全体での共有

グループで共有した意見をホワイトボードにまとめ、黒板に貼った。

➡ 7班分（計8枚）のホワイトボードを、クラス全体で共有した。

◎ 家族と過ごす時間  
◎ 学校生活  
◎ 将来・夢  
◎ めぐみさんにとっての幸せ  
◎ 笑顔

2班

・ めぐみさんとその周りの人たちの幸せ  
・ めぐみさんの将来  
・ 家族と友達  
・ 生きる自由、楽しむ自由

自由・愛・時間・幸せ  
人生・家族との思い出  
人権・将来の選択

3班

・ 幸せ  
・ 友達  
・ 家族  
・ 自由  
・ 未来（これからの楽しい生活）

・ 家族や友達と過ごす時間  
・ 好きな事をして暮らす自由  
・ めぐみさんの人生  
・ 笑顔

家族と過ごす時間、幸せ

6班

・ 時間・家族・幸せ  
・ 部活の仲間・自由  
・ 友達・普段の生活  
・ 未来

・ 幸せ  
・ 人並みに生きる生活  
・ 家族・友達・自由

めぐみさんから  
奪われたものは  
何か

# ① 導入

# ② 展開

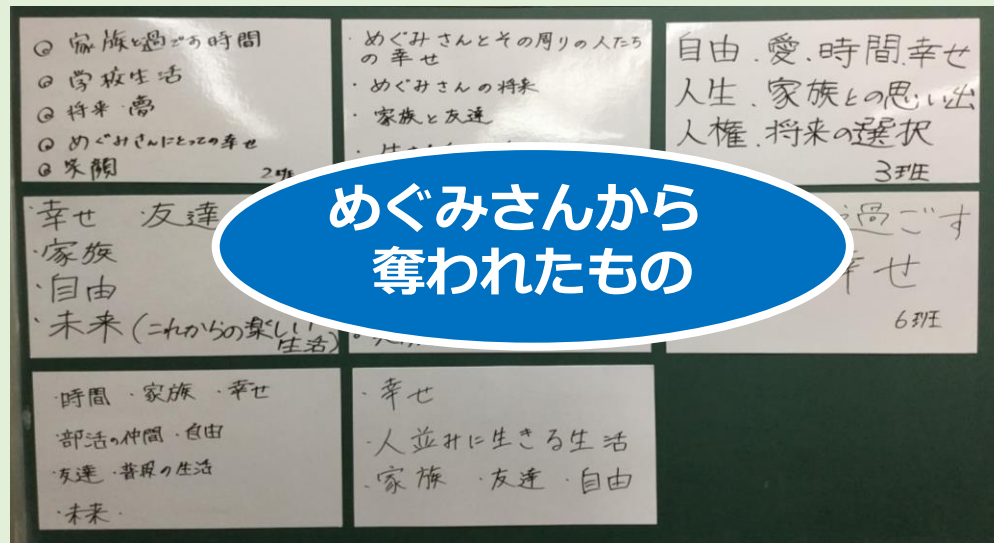
# ③ まとめ

## クラス全体で深める

これからの人生で、やりたいことは何ですか？



事前  
アンケート



めぐみさんから  
奪われたもの

「（自分達が）これからの人生でやりたいこと」と  
「めぐみさんから奪われたもの」を比較した。

➡ 二つが一致することに気が付く。

➡ めぐみさんに起こった出来事を、自分に引き寄せて考えた。

拉致問題が、**他人事ではない**ことを感じ取った瞬間

## クラス全体で深める

## 権利



「めぐみさんから奪われたもの」は、全ての人が自由に人間らしく生きていくために保障される基本的人権であることに触れた。

➡ これまで学習した平等権、自由権、社会権などに関連している。

① 導入

② 展開

③ まとめ

## 「横田滋・早紀江さんからのメッセージ」視聴



出典：DVD「横田滋 早紀江さんからのメッセージ」

視聴する前に、映像の中から

**印象に残った一言を選ぶ**

よう、

あらかじめ伝えた。



## 「横田滋・早紀江さんからのメッセージ」視聴

### 横田夫妻の言葉

みんなと一緒に暮らすことは、  
とても大切なこと

北朝鮮にいても、  
生きていてくれてよかった

みんなで一緒に暮らせること  
が幸せなこと

誕生日にはプレゼントを  
渡していた

早く解決してほしい

一刻も早く、帰ってきてほしい

横田夫妻の言葉に注目させる。

➡ 横田夫妻の想いを受け取り、共感していた。

① 導入

② 展開

③ まとめ

自分の考えをまとめる



「拉致問題に対して、自分はどう向き合っていくのか」

について、自分の考えをまとめ、発表した。

## 自分の考えをまとめる

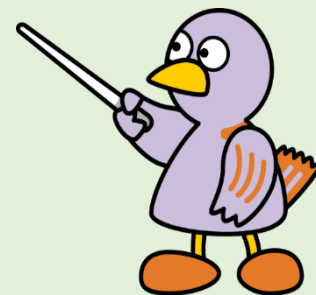
「拉致問題に対して、自分はどう向き合っていくのか」

### 生徒の言葉より

自分に関係のない話ではないと感じました。

家族の方がどれだけ苦しい思いをしているかと考えると胸が痛いです。拉致問題は絶対に解決しないといけない問題だと感じました。他人の権利を侵害していいわけではないし、自分の立場に置き換えればわかると思います。

一人一人の言葉に力はないと思うけれど、言葉が集まれば、政府が動いて、解決へ一歩ずつ前進していけると思います。



① 導入

② 展開

③ まとめ

**最近の動向を学ぶ**



**新聞記事や写真などから、  
拉致問題の最近の動向を学んだ。**



# ★ 資料から伝えたポイント

① 拉致問題は過去の問題ではなく、現在進行中であること

② 未だ安否の分からない拉致被害者がいること

③ 拉致問題は国家間の問題であり、北朝鮮の国民や在日韓国・朝鮮人の人々には責任はないこと

④ 拉致問題への関心が最も低いのは10～20代であること

⑤ 今後も考え続けていかなければならない問題であること

# 授業で扱った資料

## (PowerPoint資料)

# 必ず取り戻す！



初めて母親の着物に袖を通した  
横田めぐみさん(当時12歳)。  
1977年1月新潟市の自宅前で  
父 滋さん撮影。

めぐみ、お母さんのきょうと助けてあげた。  
めぐみ、お母さんのきょうと助けてあげた。  
めぐみ、お母さんのきょうと助けてあげた。

同じように助けを求めている拉致被害者の  
たくさんいるのです。

横田早紀江

日本政府は、北朝鮮に対し、認定の有無にかかわらず全ての  
拉致被害者を一刻も早く帰国させるよう強く求めています。

政府 拉致問題対策本部


拉致に関する情報をお持ちの方、お問い合わせ、資料請求は、  
電子メールアドレス: [grachin@racchi.go.jp](mailto:grachin@racchi.go.jp) FAX: 03-5981-6911 までお願いいたします。  
ホームページアドレス: <http://www.racchi.go.jp> TEL: 03-5981-8898

同じように助けを求めている拉致被害者が  
たくさんいるのです。


横田早紀江

# 全ての拉致被害者の帰国を目指す!


**1** 1977年9月19日  
宇出津(うしづ)事件  
**久米 裕さん**  
(52・石川県)  
石川県宇出津海岸付近にて失踪。安否未確認。(北朝鮮は入境を否定)




**2** 1977年10月21日  
女性拉致容疑事案  
**松本 京子さん**  
(29・鳥取県)  
自宅近くの編み物教室に向かったまま失踪。安否未確認。(北朝鮮は入境を否定)




**3** 1977年11月15日  
少女拉致容疑事案  
**横田 めぐみさん**  
(13・新潟県)  
新潟市において下校途中に失踪。安否未確認。(北朝鮮は「自殺」と主張)



**4** 1978年6月頃  
元飲食店店員拉致容疑事案  
**田中 実さん**  
(28・兵庫県)  
欧州に向け出国した後失踪。安否未確認。(北朝鮮は入境を否定)



**5** 1978年6月頃  
李恩恵(リ・ウネ)拉致容疑事案  
**田口 八重子さん**  
(22・不明)  
安否未確認。(北朝鮮は「交通事故で死亡」と主張)



**6** 1978年7月7日  
アベック拉致容疑事案  
**地村 保志さん**  
(23・福井県)  
**地村 富貴恵さん**  
(旧姓: 濱本) (23・福井県)  
「二人でデートに行く」と言って出かけて以来、失踪。  
2002年10月帰国。




**7** 1978年7月31日  
アベック拉致容疑事案  
**蓮池 薫さん**  
(20・新潟県)  
**蓮池 祐木子さん**  
(旧姓: 奥土) (22・新潟県)  
蓮池さんは「ちょっと出かける。すぐ帰る」と言って外出したまま失踪。同様に奥土さんも外出したまま失踪。  
2002年10月帰国。




**8** 1978年8月12日  
アベック拉致容疑事案  
**市川 修一さん**  
(23・鹿児島県)  
**増元 るみ子さん**  
(24・鹿児島県)  
「浜に夕日を見に行く」と言って出かけたまま失踪。安否未確認。(北朝鮮は「心臓麻痺で死亡(市川さんは海水浴中)」と主張)





**9** 1978年8月12日  
母娘拉致容疑事案  
**曾我 ひとみさん**  
(19・新潟県)  
**曾我 ミヨシさん**  
(16・新潟県)  
「2人で買い物に行く」と言って出かけて以来失踪。  
ひとみさんは2002年10月帰国。  
ミヨシさんは安否未確認。(北朝鮮は入境を否定)




**10** 1980年5月頃  
欧州における日本人男性  
拉致容疑事案  
**石岡 亨さん**  
(22・欧州)  
**松木 薫さん**  
(26・欧州)  
欧州滞在中に失踪。安否未確認。  
(北朝鮮は石岡さんは「ガス事故で死亡」、松木さんは「交通事故で死亡」と主張)




**11** 1980年6月中旬  
辛光洙(シン・グァンス)事件  
**原 救晃さん**  
(43・宮崎県)  
宮崎県内で発生。  
安否未確認。(北朝鮮は「肝硬変」で死亡と主張)



**12** 1983年7月頃  
欧州における日本人女性  
拉致容疑事案  
**有本 恵子さん**  
(23・欧州)  
欧州にて失踪。  
安否未確認。(北朝鮮は「ガス事故で死亡」と主張)



## ■ 拉致被害者の失踪場所





**北朝鮮に住む一般市民の人たちを、  
憎んだり恨んだりしているわけではない。**



出典：DVD「横田滋 早紀江さんからのメッセージ」

# 家族会を結成（1997年）





## 岸田総理と拉致被害者御家族の面会

※当時

## バイデン大統領と ※当時 拉致被害者御家族 の面会



# 『外交に関する世論調査』 （内閣府）

北朝鮮に対する関心事項に、  
**「拉致問題」** を挙げた人は・・・

60～69歳は、85.3%

30～39歳は、67.5%

18～29歳は、64.9%



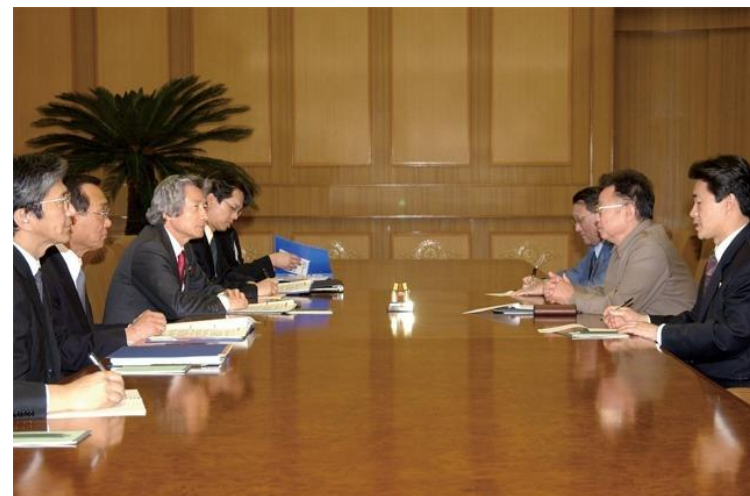
## 北朝鮮による拉致問題の経緯

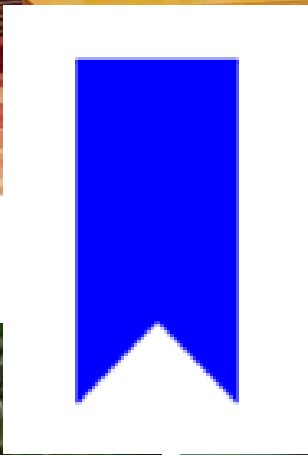
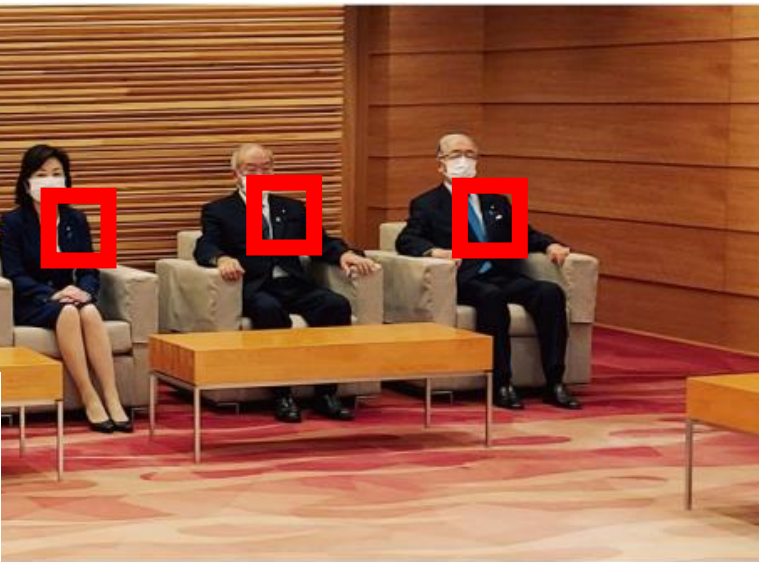
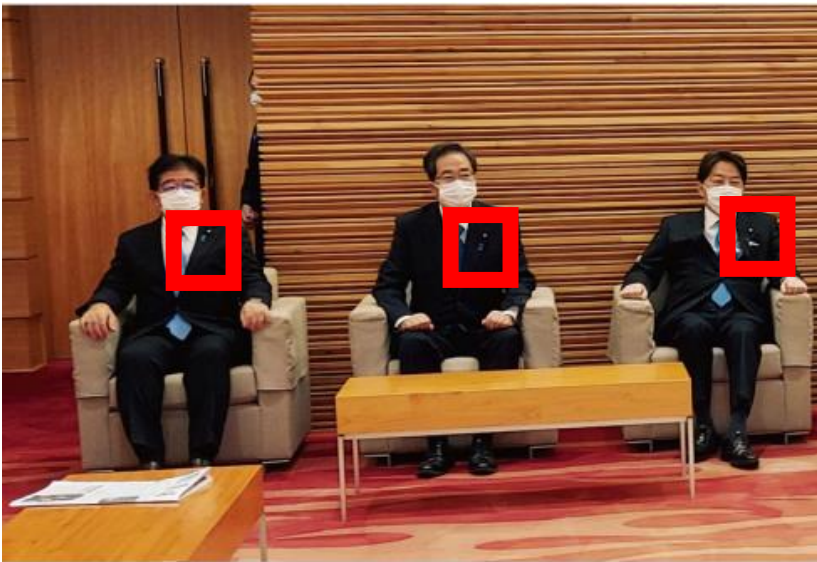
1977 年 11 月	横田めぐみさん拉致。以降、80 年代前半ごろまで拉致が相次ぐ
1997 年 2 月 3 月	めぐみさんの拉致疑惑が報道などで浮上 拉致被害者家族会結成
2002 年 9 月	小泉純一郎首相が訪朝。北朝鮮が拉致を認め「8 人死亡、5 人生存」と伝達
10 月	拉致被害者 5 人が帰国
2004 年 5 月 11 月	小泉首相が再訪朝。拉致被害者の蓮池・地村 両夫妻の子ども 5 人が帰国 北朝鮮側がめぐみさんのものとする遺骨を 提出。翌日、日本政府が「遺骨は別人」と鑑定
2011 年 12 月	金正日氏が死去。金正恩体制に
2014 年 3 月 5 月	横田滋さん、早紀江さん夫妻が、めぐみさんの 娘キム・ウンギョンさんらとモンゴルで面会 スウェーデンで日朝協議。拉致被害者らが 日本人の包括的調査で合意
2016 年 2 月	北朝鮮の核実験とミサイル発射に対して日本 が独自制裁を決め、北朝鮮が日本人調査の中 止を発表

### 第 1 回 日朝首脳会談 (2002年9月)



### 第 2 回 日朝首脳会談 (2004年5月)





「取り戻す」ためのシンボル—ブルーリボン

